

**ベネズエラ 石油は増えインフレは収まりつつある**

**Venezuela: Oil Output Continues Upward Swing  
as Iran Calls for Greater Cooperation**

<https://venezuelanalysis.com/news/15414>

By Andreína Chávez Alava

Dec 19th 2021

Venezuela Analysis

**はじめに**

ベネズエラは、イランとの提携を強化しながら、着実に石油生産を伸ばしている。

石油収入は、最近の原油生産と輸出の増加を受けて、来年度政府予算の61パーセントに達する利益を上げると見られる。

OPECの報告によると、ベネズエラでは11月に1日あたり平均62.5万バレルを産出した。

これは、前月から15,000バレル増加した。政府は、年末に1日100万バレルの目標を設定している。

2017年以降、旧トランプ政権は政府転覆を目指し、金融制裁、本格的な石油禁輸、および多数の二次的措置を課してきた。

さらに2020年初頭以来、制裁強化により石油産業を国際市場から締め出した。それ以来、生産量は60万バレル/日を割り続けてきた。

その結果、ベネズエラの国家歳入は大幅に縮小し深刻な経済危機をもたらした。

バイデン政権はトランプの制裁政策を続け、さらに強めている。

## イランの支援

マドゥロ政権は、資本、市場、資源をもとめ、ロシア、中国、イランなどの支援を受けてきた。さらに原油生産の回復のために、イランと連携を強めてきた。

とくに「イラン産希釈液」（Iranian condensate）の安定供給が最近の産油量増加の鍵となっている。

**Iranian condensate について新藤さんに教えていただきました。「オリノコ原油は重質油で使いづらいので、イランの軽質油と混ぜて、発電用に使います」なのだそうです。御教示ありがとうございました。**

**田中さんからも御教示いただきました。**

**Condensate は凝結の意味と辞書にでていますが、ここでは重質油を軽質油にかえるための「希釈剤（diluent）」のことではないでしょうか。これまでアメリカの制裁で一番困ったのは米国から輸入していた希釈剤がストップで、これをイランから代替輸入したと説明されてきたように思います。**

イランは7月以来、3回にわたり460万バレルの混合材料を出荷している。今週には第4回目のタンカーがベネズエラに着岸している。

この「希釈剤」はオリノコ川油田で産出された超重質原油と混ぜ合わされ、処理されて輸出にまわされる。

PDVSA とイラン国営石油会社は、今年9月、ベネズエラ超重質油とイランの濃縮液とを交換するスワップ協定を締結している。

これは、米国の制裁を回避するための、両国間の継続的な協力として位置づけられている。

## 急増するベネズエラの生産と輸出

ベネズエラの輸出もここ数ヶ月で急増している。PDVSA の出荷は 1 日あたり 50 万バレルまで上昇している。

その主な最終目的地は中国である。

ロイターによると、石油収入の増加分は来年度国家予算の 61% に相当するという。ただし来年度予算の額について知っているものはいない。

12 月 14 日、ベネズエラ国民議会（AN）は、約 130 億米ドルの来年度予算を承認した。これは今年度の総額より 60% 増となっている。

デルシ・ロドリゲス副大統領は予算説明で、「支出の 77% が社会対策にあてられる」と説明している。

## 通貨安による輸出への貢献

また、現地通貨を守り、インフレと闘うとし、取引税の減額を行う法案を検討中だと述べた。

この 3 ヶ月、物価上昇は 10% 以下にとどまっている。これは 2016 年以來初めてのことだ。

ベネズエラ中央銀行（BCV）は、今年の累積インフレ率は 631.1% まで低下すると報告した。

通貨安は石油以外の輸出産業にもチャンスをもたらしている。ベネズエラ輸出業者協会（AVEX）は、海外売上高が 30% 増加したと報告した。

輸出の大部分は、海産物、カカオ、チョコレート、木材、トロピカルフルーツなどの資源産品である。

## 通貨不安の足かせが外れつつある

デジタル・ポリバル（原油を担保にした仮想通貨）は各種のデジタル通貨と有効に交通している。今後はデジタル・ポリバルと米ドルの為替レートを安定させるため、持続的な取り組みを展開する。

国際機関は、ベネズエラが7年間の不況をへて景気回復を果たしつつあると報告している。

10月、クレディ・スイス銀行はベネズエラのGDPが2021年に5.5%増加するだろうと予測した。

しかし米国の金融および石油制裁は依然として国に重くのしかかっており、予断は許さない。

## マドゥーロ大統領の決意

12月17日、マドゥーロはツイッターで決意表明した。

2021年は経済的および政治的安定が見られた年となった。来年はもっと良い年となるだろう。

誰にもベネズエラの人々が幸福を求めているのを阻止できないし、そのような権利もない。私たちは勝利の日まで闘い続けるだろう